

(件名)

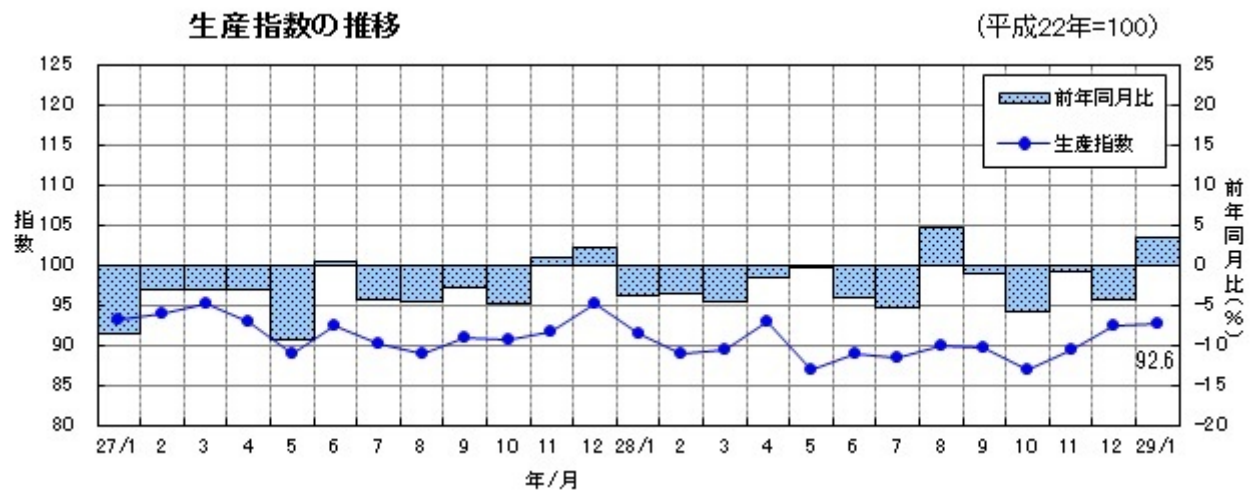
生産の前月比は3か月連続して上昇 (静岡県鉱工業指数 平成 29 年 1 月分速報)

1 生産指数の動き

平成 29 年 1 月の鉱工業**生産指数**（季節調整済：平成 22 年=100）は **92.6** となり、**前月比は 0.1%増と 3 か月連続して上昇**した。

また、**前年同月比（原指数）は 3.4%増と 5 か月ぶりに前年を上回った**。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、食料品・たばこ、窯業・土石製品等が上昇する一方、電子部品・デバイス、はん用・生産用・業務用機械、化学等が低下した。

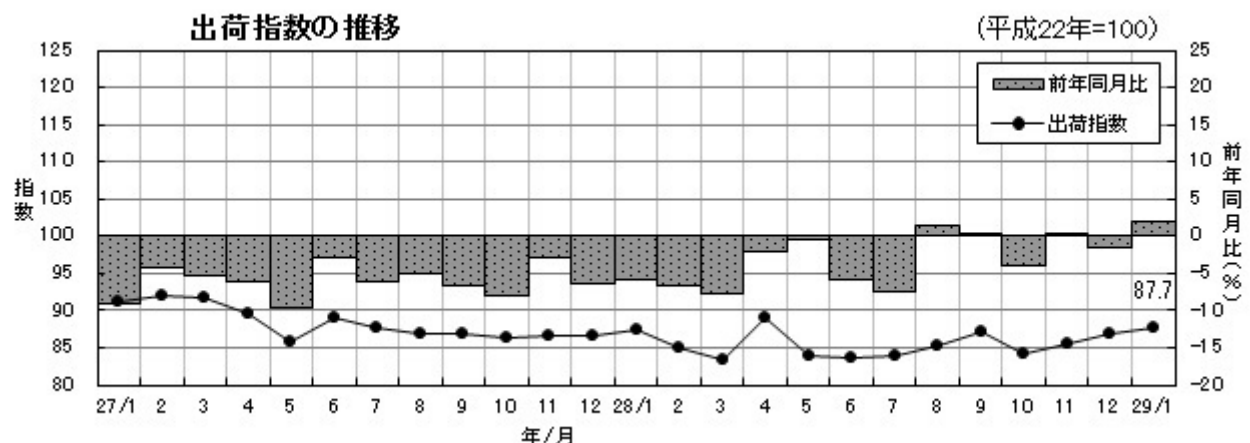


2 出荷指数の動き

平成 29 年 1 月の鉱工業**出荷指数**（季節調整済：平成 22 年=100）は **87.7** となり、**前月比は 1.0%増と 3 か月連続して上昇**した。

また、**前年同月比（原指数）は 2.1%増と 2 か月ぶりに前年を上回った**。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、食料品・たばこ、電気機械、はん用・生産用・業務用機械等が上昇する一方、輸送機械、金属製品、電子部品・デバイス等が低下した。

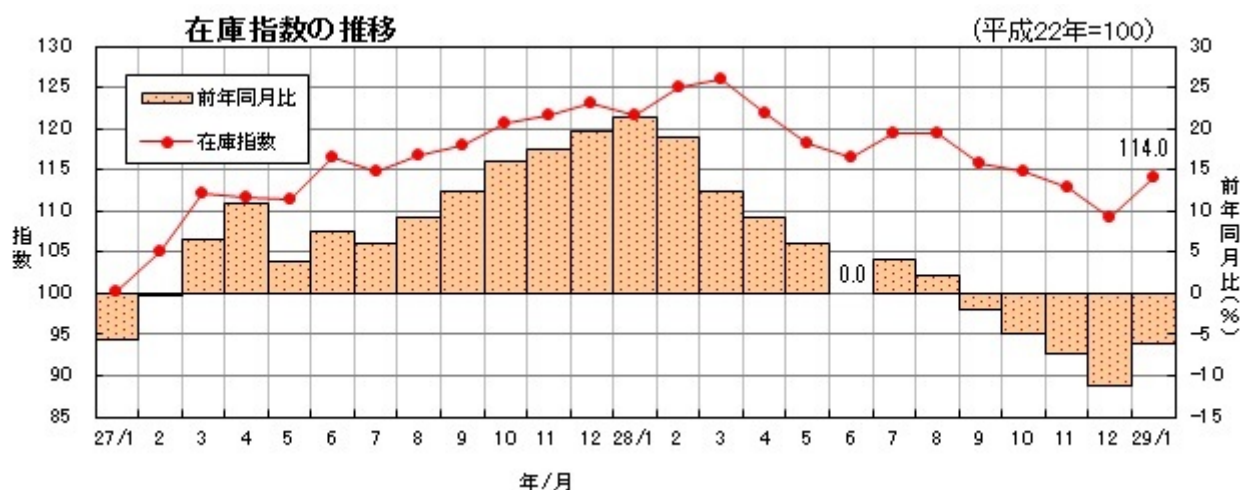


3 在庫指数の動き

平成 29 年 1 月の鉱工業**在庫指数**（季節調整済：平成 22 年=100）は **114.0** となり、**前月比は 4.4%増と 6 か月ぶりに上昇した。**

また、**前年同月比（原指数）は 6.2%減と 5 か月連続して前年を下回った。**

業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、窯業・土石製品、食料品・たばこ等が上昇する一方、化学、はん用・生産用・業務用機械、プラスチック製品等が低下した。



4 平成 28 年速報

今回で平成 28 年 12 月分の確報値まで出揃ったため、平成 28 年指数（速報）をまとめた。

平成 28 年指数（原指数：平成 22 年＝100）は、**生産指数 89.5**（前年比 2.7%減）、**出荷指数 85.3**（3.5%減）、**在庫指数 118.3**（3.5%増）となった。

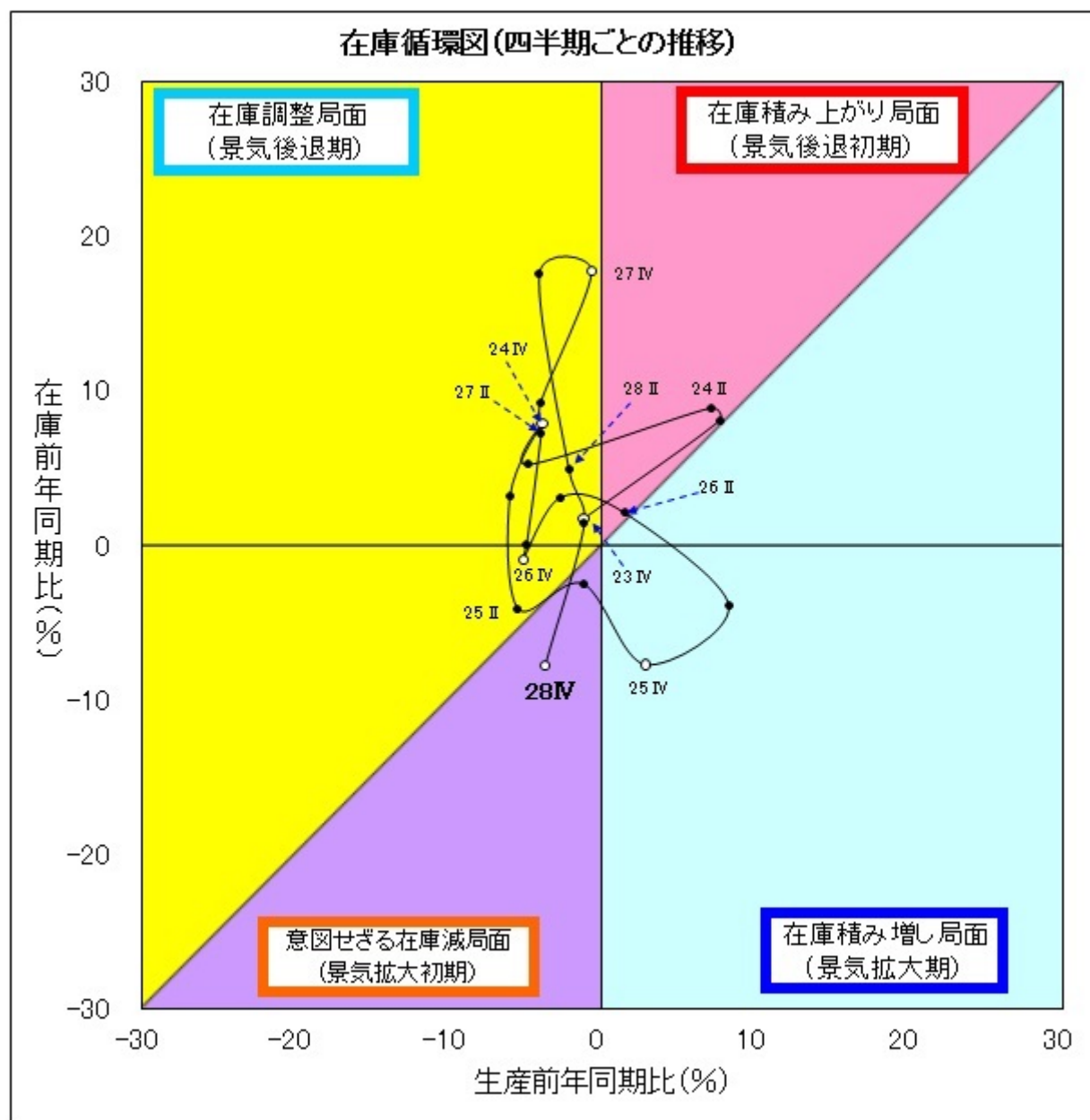
鉱工業指数の年次推移

(原指数:平成22年=100)

	生 産		出 荷		在 庫	
	静岡県	全 国	静岡県	全 国	静岡県	全 国
平成 24年	97.4 (1.4)	97.8 (0.6)	97.2 (1.6)	97.5 (1.2)	108.5 (7.4)	110.5 (5.2)
25年	94.9 (△2.6)	97.0 (△0.8)	93.6 (△3.7)	96.9 (△0.6)	105.3 (△2.9)	105.7 (△4.3)
26年	95.2 (0.3)	99.0 (2.1)	94.1 (0.5)	98.2 (1.3)	105.4 (0.1)	112.3 (6.2)
27年	92.0 (△3.4)	97.8 (△1.2)	88.4 (△6.1)	96.9 (△1.3)	114.3 (8.4)	112.3 (0.0)
28年	89.5 (△2.7)	97.6 (△0.2)	85.3 (△3.5)	96.1 (△0.8)	118.3 (3.5)	107.1 (△4.6)

下段()内は前年比(%)

<参考1>在庫循環図



- 在庫積み増し局面（景気拡大期）**
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- 在庫積み上がり局面（景気後退初期）**
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- 在庫調整局面（景気後退期）**
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- 意図せざる在庫減局面（景気拡大初期）**
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。